

■巻頭言	全国犯罪被害者支援フォーラム2015に寄せて	1
■特集	フォーラム2015より	2~8
	犯罪被害者支援功労者表彰 講演要旨	3~5 5
	パネルディスカッション概要	6
	秋期全国研修会 全体会報告 分科会報告	7 8
■編集後記		8

巻頭言

全国犯罪被害者支援フォーラム 2015に寄せて

特定非営利活動法人 全国被害者支援ネットワーク
専務理事 ● 秋葉 勝

今日の犯罪被害者支援の発展に大きく寄与してきた本フォーラムは、平成8年11月5日に財団法人犯罪被害者支援基金、日本犯罪被害者学会、東京医科歯科大学犯罪被害者相談室の三者により第1回大会が開催されてから20回を迎え記念すべき大会となりました。

この大会は、全国で犯罪被害者支援に関わっている方々の学びの場として、日本における犯罪被害者支援を充実・発展させていくことを目的に開催されてきました。本年は、全都道府県の被害者支援センターが各公安委員会から犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けることができ「どこにいても求める支援が受けられる」体制が整ったところでもあります。

本年のフォーラムには、秋篠宮同妃両殿下がご臨席になり、殿下からおことばを賜り参加者ともども感激するとともに今後の被害者支援充実への励みをいただくことができました。

今年は、「交通犯罪被害のない社会をめざして」をテーマに2部構成のフォーラム及び全国研修会が行われました。

第1部では、表彰式で 犯罪被害者支援に尽力してこられた支援功労者・功労職員及び団体の表彰、犯罪被害者支援活動にご支援・ご協力いただいた個人や団体に感謝状が両殿下ご臨席のもと授与され、受賞者には意義深いものになったことと思います。

次に、被害者の声「夢をあきらめない」と題して交通犯罪被害者である石黒由美子様からご講演をいただきました。石黒様は小学生のころ交通事故で瀕死の重傷を負い、身体に障害を抱えながら夢であったシンクロナ

イズドスイミングに挑戦、日々の目標を「夢ノート」に記しながらひとつひとつの壁をお母さんと共に勇気と希望をもって乗り越え、北京オリンピック2008 シンクロナイズドスイミング競技日本代表として出場されるまでの体験を家族や友人への感謝の気持を込めて明るく語られ、事件や事故で苦しむ人への勇気を与えてくれました。登壇に先立ちオープニング映像「オリンピックに出るまでの夢」が、講演終了後はエンディング映像「夢をあきらめない」が上映され参加者の脳裏に深く刻まれたことと思います。

第2部では、「交通犯罪被害のない社会をめざしてー被害者の実情と支援の課題ー」をテーマにパネルディスカッションが行われ、交通犯罪被害により重度の後遺障害に苦しむ被害者やそのご家族の苦悩の実態、死亡事故で苦悶するご遺族の心情、支援のニーズ等が明らかにされ、こうしたニーズに対し、独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）や警察、民間支援団体によるご家族、ご遺族を含む交通犯罪被害者に対する支援、取組状況、今後の課題がディスカッションされ今後の被害者支援活動に多くの示唆を与えてくれました。特に、NASVAの活動について参加者の理解を深めることができたものと思っています。今後に期待しています。

第1回フォーラムに警察庁犯罪被害者対策室において携わった者としてフォーラムが果たしてきた役割の大きさを再認識し、犯罪被害者支援の輪がさらに広がり充実されることを願って努力を重ねて参りますので、ご支援、ご指導よろしくお願いたします。